

(研究機関の名称：広島市立舟入市民病院)

現在、当院薬剤科で実施している研究へご協力をお願い

**1. 研究課題名**

COVID-19 治療中に発現した吃逆に影響を与える因子の検討  
～ステロイドローテーションの有用性を含めて～

**2. 対象となる方**

2020年3月～2021年10月に当院入院にてCOVID-19治療中、吃逆に対して治療薬が投与された患者さん

**3. 研究の目的**

吃逆は重篤な症状ではありませんが患者さんの QOL「Quality of life(クオリティ・オブ・ライフ)」を下げる要因となります。COVID-19治療中患者さんの背景から吃逆を起こしやすい患者さんの因子を調査検討し、吃逆軽減の対策を検討することを目的とします。また、COVID-19治療薬で吃逆を起こしやすいと言われているデキサメタゾンからプレドニゾンへの変更の検討を行います。

**4. 研究期間**

2020年3月～2021年10月

**5. 研究に使用する情報の種類**

診療情報等：性別、年齢、BMI、COVID-19重症度、吃逆の重症度、レムデシビルの使用の有無、COVID-19治療に使用したステロイドの種類、吃逆治療薬、ステロイド療法開始から吃逆発現までの日数等

**6. 研究組織**

当院のみでの研究となります。

**7. 研究責任者**

広島市立舟入市民病院薬剤科 主任技師 佐古 有紀

**8. お問い合わせ先**

この研究は、広島市立舟入市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています（承認日2022年1月27日）。この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14 番 11 号

電話 (082) 232-6195 (代表)

広島市立舟入市民病院 薬剤科 佐古 有紀